

# 認知症施策の事業実績

令和3年1月末現在

		年度末実績					
		6期			7期		
年度		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
認知症施策	認知症地域支援推進員設置数		1人（兼務）	4人（兼務）	4人（兼務）	4人（兼務）	3人（兼務）
	認知症カフェ	5	9	9	8	9	8
	認知症初期集中支援チーム対応件数			1	1	1	1
	認知症サポーター養成講座回数	31	25	25	21	26	17
	認知症サポーター養成講座受講者数	761	797	929	657	626	336
	認知症サポーター養成講座受講者総数	4,891	5,688	6,617	7,274	7,900	8,236
	認知症声かけ訓練実施回数	2	4	0	1	1	0
	キャラバンメイト数	77	112	114	116	121	123
	SOSサポーター登録事業所数	126	153	29	31	39	39
	徘徊SOSネットワーク事業事前登録件数	23	33	38	40	31	31
	位置情報サービス利用助成金交付事業	2	0	1	1	1	0
	認知症ケアパス	第1版作成				第2版作成	
	家族介護者の会（つくし会）会員数	79	95	90	75	78	60

## 令和2年度の取り組み

### ① 認知症地域支援推進員活動

- ・ 認知症地域推進員数については職員の異動により4人から3人に減、1名は育児休業中であるため、実動2名（兼務）
- ・ 今年度の認知症地域支援推進員研修は開催中止のため増員できず
- ・ 広報たかはしへの地域包括支援センター特集、9月アルツハイマー月間原稿作成
- ・ 認知症カフェへのコロナ禍での運営支援
- ・ 認知症の人、家族への個別支援
  - ➡有漢（3）、高梁（1）、川面（2）、成羽（1）、備中（1）
- ・ 認知症地域支援推進員2名がチームオレンジコーディネーター研修を受講
- ・ チームオレンジ、認知症サポーターステップアップ講座について検討

## ② 認知症カフェ運営事業

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月～6月までは運営を自粛した。各運営団体に手指消毒用アルコールやマスクの配布、感染防止方法の周知を行い7月から運営再開。9か所のうち1か所が特別養護老人ホームの施設内でのカフェ開催であったため、運営再開できず8か所での運営となった。
- ・カフェ未設置圏域へ新規の認知症カフェ運営団体を募集したが応募なし
- ・R2年度より運営委託料の考え方を変更し、新規の認知症の人やその家族の利用に加算をつけたことで、新たな利用者が増えている。
- ・川上町のかわかみ茶坊においては、認知症の方が参加するための移動手段として、通所付添サポート事業「かわかみお出かけ隊」を発足し、認知症の方の新規利用に繋がっている。
- ・認知症カフェ連絡会は10月、2月に開催  
三密を避けるために各運営団体より1名の参加で実施、コロナ禍での運営の工夫や困りごとなど情報交換を行った。来年度は研修的な要素も含めた連絡会を検討する。

## ③ 認知症初期集中支援チーム派遣事業

- ・チーム数：1 今年度はチーム員研修に出席できず。
- ・困難事例対応1件：6月～9月まで支援
- ・全国的に認知症初期よりも困難ケース支援を中心にチームが動いている現状があり、相談があった時にタイムリーに支援できるように体制を整えていく。

## ④ 認知症サポーター養成講座、徘徊声かけ訓練

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、養成講座の開催数、受講者数が減少した。（開催中止：高梁中学校、高梁・津川・成羽小学校）
- ・認知症サポーター養成講座を受けての徘徊声かけ訓練は実施せず。
- ・オンラインでのサポーター養成講座の要望があるため、対応予定（日本郵便株式会社備中西部地区）
- ・各地域の認知症サポーター実数について確認中。平成25年度以降の講座受講者について受講者台帳を作成し、頻回に受講した人をピックアップしている。
- ・認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバンメイトは123名、うち非活動キャラバンメイト(45名)あり。
- ・キャラバンメイトは全国キャラバンメイト連絡協議会に登録されており、年間少なくとも3回以上のサポーター養成講座にボランティアの立場で取り組むこととされている。3月のキャラバンメイト連絡会において今後の活動、担う役割について再確認予定

## ⑤ 徘徊SOSネットワーク、徘徊SOSサポーター（大切なあなたを見守り隊）

- ・新規事前登録：7件      登録抹消：7件      登録件数：31件
- ・事前登録者の情報更新は実施中
- ・メール配信システムの活用によるSOSサポーターへの配信：0件
- ・今後も、徘徊SOSネットワークの早期登録を周知する。
- ・徘徊SOSサポーターと認知症サポーターの役割についてすり合わせをするため、新たな事業所登録をすすめていない。今後のSOSサポーターの在り方を検討する。

## ⑥ 位置情報サービス利用助成金交付事業

- ・申請なし

## ⑦ 認知症ケアパス

- ・令和元年度に改編したケアパスの活用状況について委員会で検討し、対象者毎に分割して活用できるよう改編を予定

⑧ 家族介護者の会（つくし会）

- ・年4回（6月、9月、11月、2月）、在宅介護に役立つテーマでの研修及び交流を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催中止、11月に1回のみ開催（6名出席）
- ・市の補助金を受けての自立運営が困難という会員からの意見を踏まえ、令和2年度をもってつくし会活動を終了し、家族介護者交流事業として介護医療連携課主催で介護者及び介護に関心のある人向けの研修、交流事業を行う。

⑨ 認知症理解への普及啓発

- ・4月：認知症カフェ未設置圏域（高梁北・有漢・備中）への認知症カフェ運営団体募集
- ・7月：広報たかはし7月号で「地域包括支援センター」の特集を組み、認知症総合支援事業についてもPR
- ・8月：9月のアルツハイマー月間に合わせて「認知症の理解と支援」、認知症サポーター養成講座についてPR
- ・12月：民生委員会にて「認知症初期集中支援チーム派遣事業」について活用PR